

DXは、人材の育成から始まる。

長野市データ活用人材 育成プログラム

無料
長野市
負担

先着
10名
程度

第三弾 実践編

今回は、本プログラム第三弾となる「実践編」のご案内です。

DX化が進まないという課題の一つには、**データ活用人材の不足**があげられます。長野市は、データ活用人材を育成、DXを実現したい市内中小企業の支援のため、**信州大学工学部と連携して**（委託事業）**「データ活用人材育成プログラム」**を開始しています。

日時

- ①2026年1月28日(水)、29日(木)9:30～17:00頃まで
 - ②2026年2月12日(木)、13日(金)9:30～17:00頃まで
- ※①②からお好きな日程と講座（裏面参照）をお選びいただけます

場所

信州大学 長野(工学)キャンパス
〒380-8553 長野市若里4-17-1

特徴

信州大学による
講座

サンプルデータ
を使った分かりやすい
ワークショップ型

動画による
事前学習で
知識の定着



長野市
NaganoCity
商工労働課



信州大学 | 工学部
SHINSHU UNIVERSITY

共催

長野商工会議所・長野市商工会・信州新町商工会

事業への申込/問合せ：長野市商工労働課 荒井・荻野・有賀
tel：026-224-5041 Mail：skr@city.nagano.lg.jp

人材育成プログラム内容

第一弾

基礎編

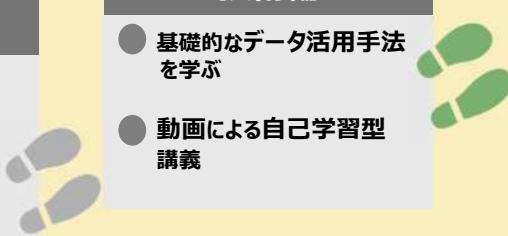
- 課題抽出、解決策の抽出手法などを学びます
- ワークショップ型講義

★9/2より開始済み

第二弾

技術編

- 基礎的なデータ活用手法を学ぶ
- 動画による自己学習型講義



第三弾

実践編



サンプルデータを用いた実践的ワークショップ型セミナー

ビジネス予測における時系列分析や画像認識と画像処理

①今すぐ始める！ビジネス予測における時系列分析

1月28日（水）1日目

- ビジネスにおける時系列データ活用
- 時系列予測モデル構築の基礎
 - ・時系列データの変動成分・定常性・自己相関をPythonで確認
 - ・自己相関プロット（自己相関ACF・偏自己相関PACF）
 - ・定常性確認（ADF検定）
- ARIMA・Prophetによる予測モデル構築(Python)

②画像解析処理

2月12日（木）1日目

- OpenCV を用いた画像処理
 - ・フィルター
 - ・色変換
 - ・幾何学変換
 - ・python programming
- Yoloを持った物体認識（導入編）
 - ・Yoloの導入
 - ・事前学習モデルでの物体認識

1月29日（木）2日目

- 予測モデル構築の実践（時系列予測、線形回帰、因果探索）
- 時系列特徴量を活用したテーブル予測
- 複数の時系列データを同時に分析する
- ディスカッション、ラップアップ
 - ・業務におけるデータ分析、DX困りごとについて
 - ・業務効率化、データ分析自動化の方向性について
 - ・品質保証、売上予測、顧客離反予測、広告効果の考え方について
 - ・ラップアップ

2月13日（金）2日目

- Yoloを持った物体認識（応用編）
 - ・様々なYoloモデル
 - ・機械学習
 - ・独自物体の認識モデル作成
- 応用
 - ・OpenCVとYoloの連携
 - ・python programming
 - ・リアルタイム物体検出
 - ・ラップアップ

※Wi-Fi接続が可能なノートPCとGoogleアカウントをご準備ください。

※Wi-Fi接続及びソフトウェインストールが可能なノートPCとGoogleアカウントをご準備ください。

※申込完了後に、事務局からご案内する人材管理プラットフォームにて事前に動画研修コンテンツを視聴いただきます

次の宛先に必要事項を記載し、メールでお申込みください。

- ・宛先 : skr@city.nagano.lg.jp
- ・件名 : 【長野市デジタル人材育成 実践編】

・メール本文 :

- ①社名②受講人数③役職・受講者氏名④メールアドレス⑤電話番号
- ⑥受講を希望する講座（2講座受講も可能です）

※各項目必須でメール本文への記入をお願いします

注1) お申込みは、会社単位でお願いします

注2) お申込み後に、会社単位で、人材管理プラットフォームを使用する上の必要情報を事務局からお送りします

注3) 人材管理プラットフォームにログインして使用するために、受講者用のIDとパスワードをご提供します

【申込期限】

- ① 1月28日、29日開催分 : 1月14日（水）
- ② 2月12日、13日開催分 : 1月29日（木）